

免疫細胞療法の 新機軸を求めて

日時: 2009年2月21日(土) 10:00~18:30

会場: 東京ガーデンパレス

東京都文京区湯島1-7-5 TEL.03-3813-6211

会長: 和田 洋巳(京都大学 名誉教授)

シンポジウム 「樹状細胞療法の可能性」

ワークショップ 「併用療法としての免疫細胞療法」

教育講演 教育講演1「光イメージングが開く新しいトランスレーショナル・ツール」
小林 英司 自治医科大学分子病態治療研究センター 臓器置換研究部

教育講演2「ペプチドがんワクチン開発のトランスレーショナルリサーチ
~ますます重要性を帯びる基礎医学研究基盤~」
鳥越 俊彦 札幌医科大学大学院 分子免疫制御学

教育講演3「癌の免疫治療に有用な免疫抑制除去のための標的分子探索」
瀬尾 尚宏 浜松医科大学 皮膚科学教室

特別講演 「制御性T細胞による免疫応答制御」
坂口 志文 京都大学再生医科学研究所 生体機能調節学

共催: 日本免疫治療学研究会 / 株式会社メディネット
参加費: 【会員・一般】7,000円 【コメディカル】4,000円 【学生】2,000円
事務局: 第6回日本免疫治療学研究会学術集会事務局
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-14 白井ビル8F
TEL: 045-478-0222 FAX: 045-478-0083
E-mail: 6thjrai@jrai.gr.jp
U R L : <http://www.jrai.gr.jp/6thjrai>

会場アクセス



免疫細胞療法の新機軸を求めて -Program-

開会挨拶 10:00~10:10

【会長】和田 洋巳(京都大学名誉教授)

シンポジウム 10:10~12:10

樹状細胞療法の可能性

【司会】古江 増隆(九州大学大学院医学研究院皮膚科学)
安元 公正(産業医科大学第二外科)【演者】阿久津 泰典(千葉大学大学院医学研究院先端応用外科)
「マウス扁平上皮癌モデルにおける樹状細胞腫瘍内局注と放射線照射の併用療法-gp96とabscopal effect-」
神垣 隆(神戸大学大学院医学系研究科外科学講座(食道胃腸外科学分野))
「アロ樹状細胞・腫瘍細胞融合ワクチンにおけるCTL誘導能」
鈴木 弘行(福島県立医科大学呼吸器外科)
「肺癌に対するMUC1ペプチドを用いた樹状細胞療法」
中本 安成(金沢大学大学院医学系研究科消化器内科)
「肝がんに対する樹状細胞免疫療法の開発」

総合討論 ※司会・演者の先生方による総合討論を行います。

教育講演 1 13:30~14:10

【司会】河上 裕(慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門)
【講師】小林 英司(自治医科大学分子病態治療研究センター臓器置換研究部)
「光イメージングが開く新しいトランスレーショナル・ツール」

教育講演 2 14:10~14:50

【司会】岡 正朗(山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学)
【講師】鳥越 俊彦(札幌医科大学大学院分子免疫制御学)
「ペプチドがんワクチン開発のトランスレーショナルリサーチ ~ますます重要性を帯びる基礎医学研究基盤~」

ワークショップ 15:10~16:30

併用療法としての免疫細胞療法

【司会】木村 秀樹(千葉県がんセンター)
杉山 保幸(帝京大学医学部附属溝口病院外科)
【演者】後藤 重則(医療法人社団混志会瀬田クリニック)
「ゾレドロン酸、その他の薬剤と併用した免疫細胞療法」
唐 宇飛(久留米大学外科・集学治療センター)
「難治性固形癌に対する標準化学治療薬と細胞免疫療法との併用療法の可能性」
加藤 逸郎(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔病因病態制御学講座口腔外科学第二教室)
「~新たな集学的治療の可能性~ホウ素中性子捕捉療法と免疫細胞療法との併用」
照沼 裕(東京クリニック丸の内オアゾmc・日本バイオセラピー研究所)
「NK細胞とCTLによる免疫細胞療法と低用量化学温熱療法の併用」

教育講演 3 17:00~17:30

【司会】江里口 正純(財団法人結核予防会新山手病院)
【講師】瀬尾 尚宏(浜松医科大学皮膚科学教室)
「癌の免疫治療に有用な免疫抑制除去のための標的分子探索」

特別講演 17:30~18:30

【司会】和田 洋巳(京都大学名誉教授)
【講師】坂口 志文(京都大学再生医科学研究所生体機能調節学)
「制御性T細胞による免疫応答制御」

懇親会 18:30~